

第8回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和3年(2021年)11月12日(金) 17時00分～18時30分
場所	佐久市中込会館 大会議室
出席 (敬称略)	花里英一, 吉岡道明, 高見澤一男, 渡辺 仁, 白鳥敬日瑚, 堀内ふき, 廣末恵子, 高橋 功, 吉岡 徹, 中島瑞枝, 近藤史章, 新井晃人, 坂内裕美子, 山崎裕史, 山下純一, 井出豊彦, 木下照美, 高橋利子, 森泉雄二, 中島俊太郎, 小林滝, 小須田理代(以上22名)
傍聴者	17名
事務局	野沢北高校: 吉澤 教頭(事務局長), 佐々木 教諭 野沢南高校: 鈴木 教頭(副事務局長), 児平 教諭 県教育委員会: 上原主幹指導主事, 石井主事, 小林主任指導主事
当日資料	○次第, 第7回懇話会まとめ, 佐久新校の学校像について(佐久新校プロジェクトチーム案と改訂版), 「未来の学校」野沢北高校資料(資料1), 教育課程進行表(資料2-1, 2-2)

会議事項

- (1) 第6回校地検討部会について(報告)
- (2) 第7回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて(報告)
- (3) 佐久新校の学校像(たたき台)意見交換

主な内容(要旨)

【佐久新校プロジェクトチームたたき台について説明】

- 「目指す学校像」、「育てる生徒像」、「設置学科」、「自主活動」、「学び・カリキュラム」、「地域連携・コンソーシアム」について、プロジェクトチーム案を説明

<構成員からの意見質問> (⇒プロジェクトチーム回答)

[スローガン] について

- ・「共創」という言葉が今後馴染むのかは疑問。

[設置学科] について

- ・設置学科の「探究を軸にした特色学科」は、特色を持った普通科を考えるとという意味での特色学科か。⇒基本的な部分は普通科。具体的なものは今後検討。

- ・特色学科は教員のマンパワーが必要な学科。教員数確保が重要。

- ・特色学科ひとつだけの高校を想定か。普通科と特色学科二つの学科を想定か。

- ⇒学校として、普通科を発展させた形のひとつの科、二・三年次に系統で分かれる形を構想している。

- ⇒文系理系では括れない系統が今後必要になると想定。現在3系統を研究中。

- ・特色学科のみの学校ということだが、慎重に検討して欲しい。

- ・総合的に物事を見る学際研究が大事になってきている。今後ディスカッションが聞きたい。

- ・大学受験に十分機能すると考えてよいか。

- ⇒目指す学校像に「生徒の希望する進路、高い志を実現できる進学校」を謳っている。

- ・二年次で必要単位を全て取得、三年生で飛び級のようなことを検討していくのか。

- ⇒基本的に生徒の興味や進路に合わせた選択という形を考えたい。単位制が必要なら検討する。

[育てる生徒像・目指す学校像]

- ・生徒をどうやって育てるのかというような方法を議論していくと深まる。

[学び・カリキュラム]

- ・探究自体は良い活動だが、探究を前面に押し出した高校に行きたいとは思わない。

- ・探究はあまり意味がないように感じる。探究がある高校に行きたいとは思えないと思う。

- ・地域と繋がることは楽しい。探究科は魅力的に感じる。

- ・自分のライフデザインに繋がる学びがあっても良い。

[地域連携・コンソーシアム]

- ・カリキュラムが複雑になると地域連携を教員が担うのは困難。事務局に地域おこし協力隊のような人を充て、コンソーシアム未加入の企業等との橋渡しを行うなど方策が必要。

[その他]

- ・学校規模や入学レベルなどの話し合いをしたい。

- ・南佐久地域の中学生は電車ダイヤの関係でクラブ活動困難。クラブ活動が出来る場所が良い。

※次回、佐久新校の学校像プロジェクトチーム修正案について意見交換

次回の予定

日時: (調整中)

場所: (調整中)

会議内容: 「学びのイメージ」「目指す学校像」について意見交換

